

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名

サニーキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		保育室内を2つに分け、机上と動のスペースを子どもたちに分かりやすく提示しています。	利用人数や年齢が大きくなると活動によっては、保育室が狭いこともあります。今後工夫が必要です。
	② 職員の配置数は適切である	○		基準に基づき職員を配置しています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		建物内にエレベーターを設置しました。工事の際などは保護者に文書を配布し情報を公表しました。	トイレなどに手すりの設置が必要と思われます。今後検討を行っていきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		子どもが帰った後、玩具等含めて室内の清掃・消毒や週1回に遊具の消毒を徹底しています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業計画の中間評価、進捗状況について職員にアンケートを実施しています。	職員からのアンケートを取りまとめ、業務改善の意識を高めるよう研修を実施しています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回、保護者向けアンケートを実施し業務改善につなげています。	アンケートの集計結果はご家族に報告しています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ガイドラインに基づき、事業所向け自己評価及び保護者向け評価表について取りまとめ、ホームページにて公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			1年後に受審を予定しております。現在、評価項目による自主評価を行い準備を進めています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員会議と合わせて事業所内研修を毎月行っています。法人内研修・外部研修への参加も積極的に進めています。	研修計画を作成し実施しています。また、研修に参加した職員が講師となり、他の職員に周知をする場を設けています。研修に伴い現場に影響がないように職員の配置などを検討する必要があります。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年に1度、子どもと保護者に面談してアセスメントを行い得られたニーズや課題を検討会議にて分析し計画を作成しています。また必要に応じて保護者との面談やケース会議等で計画の見直し等も行っています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で統一されたアセスメントツールを活用しています。	アセスメントツールを活用し、必要に応じて項目や療育の見直しを行い、個々に合わせた適切な支援へとつなげていきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援検討会議を実施し、必要な項目や具体的な支援内容を検討・設定しています。併行通園先との連携を行い、情報交換・共有を行い連携して統一した支援ができるよう努めています。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		事前打ち合わせや療育後の振り返り、ケース会議等で、支援計画に沿った支援が行えているか検証しています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		年間の予定表に基づき、プログラム担当者を定め、職員間で内容の検討と確認を行い月案を作成しています。	職員間で日案担当を振り分け、月案に基づいた活動プログラムの立案を行っています。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名

サニーキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節行事や創作活動、運動など様々なプログラムを提供し固定化しないようにしています。子ども達が様々な経験ができるよう工夫していきます。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しています。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員朝礼後に活動内容等について打ち合わせを行い確認を行っています。	日案担当を中心に活動の流れや職員の役割等確認を行い情報を共有して支援にあたっています。 情報共有が取れてないこともあるので、今後周知徹底をしていくように努める。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に活動内容や子どもたちの様子等について振り返りを行っています。振り返りでは全員が意見を言いやすい雰囲気作りを行っています。また、ヒヤリハット等についても情報共有を行っています。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	○		支援計画に基づいた支援を行い、日々の記録や保護者からの話等も記録に残しています。	日々のケース記録を基に、必要に応じてケース会議を実施し、子どもの状況について検証し改善に繋がっています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとに保護者と面談を実施し、満足度を確認しながら評価を行っています。相談事業所との定期的なモニタリングの返しなども行い情報共有に努めています。	モニタリングや面談の結果を元に検討会議を開催し見直しを検討しています。
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、担当者が出席し情報共有を行っています。	担当者会議の内容を記録に残し、さらに職員会議等で報告することで共通理解を図っています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市の発達相談会やネットワーク会議に参加する等し、関係機関と連携を図っています。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	非該当	
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている		○	非該当	必要に応じて保護者を介して担当医からの助言をもらって支援を行っています。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報提供シートを活用し情報共有を行っています。また、幼稚園等見学を行った際に情報交換を行い相互理解を図っています。	今後は、入園前や転園前にも園との連携を行い、就園前支援についても検討していきます。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学に対して保護者に情報を提供し、個別で面談やアンケートを実施し就学についての支援を行っています。移行支援シートなどの作成を行います。	保護者に正しい情報を提供する機会を設けたり、保護者同士の交流の場を設け不安の解消などに努めます。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターや児童発達支援事業所で実施されている公開療育に積極的に参加しています。また、法人内の発達支援センターと連携しています。	県こども総合療育センターの連絡会などにも参加し最新の情報収集や研修等にも参加しています。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		保育所や幼稚園等との交流はありません。今後、地域の子どもと交流する機会を検討していきます。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	法人代表が参加しており、会議等で内容を報告し職員へ周知を行っています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名

サニーキッズ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳にて日々の情報共有を行っています。必要に応じて個別での面談や電話での相談も行っています。	
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレント・トレーニング等の支援は行っていませんが、面談時にアドバイを行い、支援計画に家族支援を取り入れています。アンケートを実施したり保護者同士の懇親会などを設け、情報提供などを行っています。	
保護者への説明責任等	⑪ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に、運営規定や重要事項、利用者負担等の説明を行っています。また、変更等があった場合は、文書にてお伝えしています。契約時に内容を分かりやすく説明し、安心して利用できるよう取り組んでいます。	
	⑫ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ています。ご家族用と事業用を用意し、それぞれ保管しています。	
	⑬ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別面談時以外にも随時相談を受け付け、助言や支援を行っています。送迎時の保護者の様子や表情にも気をかけて声をかけるようにしています。	
	⑭ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年齢別の保護者を対象に懇親会を設けました。保護者同士の困り感などを話したり、仲間づくりの場になるように努めます。	
	⑮ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者や解決責任者、第三者委員を設置しています。苦情があった場合は対応マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応できるようにしています。	
	⑯ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人だよりを年3回、事業所の活動プログラムを毎月発行し、予定や活動等を発信しています。活動についてブログに掲載したりしています。	
	⑰ 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し、職員への周知を行っています。また、契約時に個人情報の取扱いについて説明を行い、承諾を得ています。	不要となった書類等は、即、シュレッダーで処分しています。
	⑱ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	○		絵カードや写真カードを活用し視覚的に工夫しています。	事業所で行っている方法を保護者へも伝えています。
	⑲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	就園活動の保護者支援の中で地域の方々もお誘いして情報を提供する予定です。	地域の方を招待する取り組みは実施できておりません。今後の課題となります。
	非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、研修等で職員へ周知しています。
㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている		○		毎月1回、避難訓練を実施する日を設け、非常災害や不審者等に対応できるよう取り組んでいます。	年間計画を立てて、毎月の訓練内容を変更するようにしています。
㉒ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○		契約時に、子どもさんの疾病やてんかん発作等を細かく聞き取り確認しています。服薬が必要な際は、与薬依頼書の提出を求めています。	鍵のところに薬は保管し誤飲などに注めています。複数の職員で与薬を行っています。
㉓ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者から情報を聞き取り、必要に応じて医師の指示書提出を求めています。対象児については、毎月の献立表と一緒に成分表をお配りし確認をお願いしています。	必要に応じてお弁当を持参して頂く場合があります。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名

サニーキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作成し、対応などを協議し朝礼や回覧等で周知を図っています。	毎月の職員会議のなかでも議題に取り上げ、情報の共有を図っています。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎日の朝礼で人権擁護ハンドブックの読み合わせを行い職員の意識を高めています。	毎年、外部講師による法人研修として権利擁護の研修を行っています。また、人権擁護委員会において、チェックリストを活用しています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、対象となる子どもがおりません。 ※ 身体拘束マニュアルや同意書を整備し、適切に対応できるようにしています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名 サニーキッズ

保護者等数(児童数) 27 回収数 19 割合 70 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19				・ 走り回れるぐらいあるので十分だと思う。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19				・ 子どもが多い時(長期休みなど)もあるが、職員は沢山いると思う。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19				・ 子ども達が活動しやすい作りになっている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19				・ いつもきれいにされていると思う。	
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	18	1			・ 面談も定期的であり、話もしっかり聞いてくれて計画を作成していると思う。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	1			・ 項目は選択されているとは思いますが地域支援など具体的な内容がまだみかけないため。	・ 地域支援活動なども、HPなどで今後周知できるように行っていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19				・ 職員からの報告もあるのでしっかり行われると思う。	
	⑧	活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	19				・ プログラムは毎日いろんな経験が出来、子どもが楽しいと言っている。 ・ 毎月様々な活動を取り入れてあり、豊かな体験をさせてくださりありがとうございます。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	3	1	7	・ 今のところそういう活動はない？ 通っていて経験したことがない。	・ こども園や保育園などへの交流の計画も今後検討していきます。
保護者 への	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19				・ じっくりされている。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19				・ じっくりされている。	
	⑫	保護者に対して「家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか	12	3		4	・ もう少ししてほしい。	・ 保護者同士の交流や年齢別の保護者を対象に情報提供や研修などを定期的実施できるよう検討していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	2			・ 面談や連絡帳、日々の送迎時にお話が出来る。 ・ 帰りに慌ただしくて、一日の様子を聞けない時がある。	・ 送迎時に受け入れの担当を配置するなどして保護者にしっかりとお伝え出来るように配慮してまいります。また面談などは随時受け付けておりますので気軽にご相談ください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	18			1	・ 相談を聞いてくれるので助かっている。 ・ 送迎の際に、職員と話をする機会があるが、子どもの療育での様子や気になることなど時間をとってお話がしたい。	・ いつでも面談等は受け付けています。お気軽にご相談ください。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名 サニーキッズ

保護者等数(児童数) 27

回収数 19

割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 説 明 等	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	4	1	5	・ 送迎ぐらいいしか他の方々と話す機会がない。	・ 家族通所や情報提供会等を今後も定期的実施し、連携を深める場としていきます。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	1			・ いつも丁寧かつ迅速に対応して頂いているので助かっている。	
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2			・ 職員で伝達がうまくいってない時がたまにある。(この先生は知ってこの先生は知らないなど)	・ 職員同士の情報共有を徹底していきます。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17			2	・ ホームページをよく見ている。しっかりしていると思う。	
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	19				・ されていると思う。	
非 常 時 等 の 対 応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1		4	・ されていると思う。 ・ 散歩時のルートや体制等がどのようになっているか知りたい。	・ 家族通所の際に園外活動を取り入れ、実際に保護者も一緒に散歩をするなどの機会を設けたりする予定です。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15			4	・ されていると思う。	
満 足 度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	19				・ 毎日先生やお友達に会うこと、活動の内容など楽しみにしていることがたくさんあるようです。 ・ 毎日、楽しく通っている。サニーキッズがお休みの日は残念そうにしている。 ・ 職員や友達の名前を挙げて一日のことを教えてくれたり「はやく行こう。」と言ったりする。	
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	19				・ いつもいつもありがとうございます。 ・ 時間を長くしてほしい。(9:00~15:00等)	・ 開所時間の延長は、現在は難しいと思われます。ご了承ください。

※1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

※2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がいの特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

※4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。